

水道水の評価とイメージ／東京・大阪・中京圏

Q.水道水を10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

◇全体の平均は7.23点

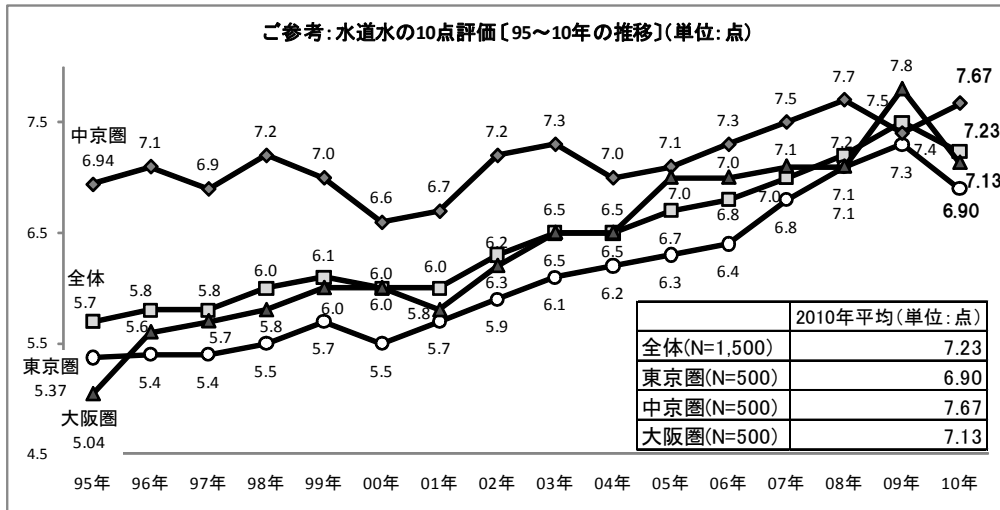
◇3エリアで最も評価が高いのは中京圏、7.67点

普及率は100%に近く、どこでも安全な水が飲める、“世界に誇るべき文化”である日本の水道。その水道水はどう評価されているのでしょうか？

10点満点で聞いたところ、全体の平均は7.23点でした。

居住地別に見ると、中京圏が高評価で7.67点。10点満点をつけた人も14.8%で、3エリア中で最多でした。最も評価の低い東京圏でも平均は6.90点。7.13点の大阪圏も含めて水道水に一定の評価を与えており、3エリアとも水道水に“ほぼ満足”しているようです。

特に中京圏は調査開始以来2009年を除いて、3エリア中最も高い評価を得ています。中京圏の主な水源は木曾川で、もともと水がきれいなことで知られ、名古屋市水道局は自然の力を借りてゆっくりと濾過する方式を採用するなど、おいしさの向上を図っています。そして中京圏は「水源地の認知」「利水・水道施設の見学経験」ともに3エリア中で最多で（次ページ参照）、好イメージと自治体の努力、居住者の認知・体験が相乗効果となって、水道水の高い評価につながっていると思われます。



* 2010年度より、調査方法をファックス調査からインターネット調査に変更しました。

* ご参考までに2009年までのデータを入れ込み、推移グラフとしました。

対象エリア：1995年…東京都、大阪府、愛知県、1996～2010年…東京圏(1都3県)、大阪圏(2府1県)、中京圏(3県)

有効回答数：1995～2009年…467～554、2010年…1,500

Q.水道水について不満を感じていることは？

(8択＋その他＋特に不満はない)

◇3人に1人が「特に不満はない」

◇不満のトップは「料金が高い」

「水道水に対する不満」を聞いたところ、3人に1人(全体の33.7%)が「特に不満はない」としました。

一方、「不満」のトップは3人に1人(33.6%)が「水道料金が高い」とし、「おいしくない」(26.5%)は2位でした。居住地別に見ると「特に不満はない」が1位だったのは中京圏だけで、大阪圏の1位は「水道料金が高い」(35.8%)でした。大阪圏を代表する大阪市は政令指定都市のなかで水道料金は最も安価ですから、この結果は“もっと安くして欲しい”という心情の現れといえるでしょう。

東京圏は3エリアの中で「おいしくない」が最も高く(33.2%)、味を厳しく評価しています。

